

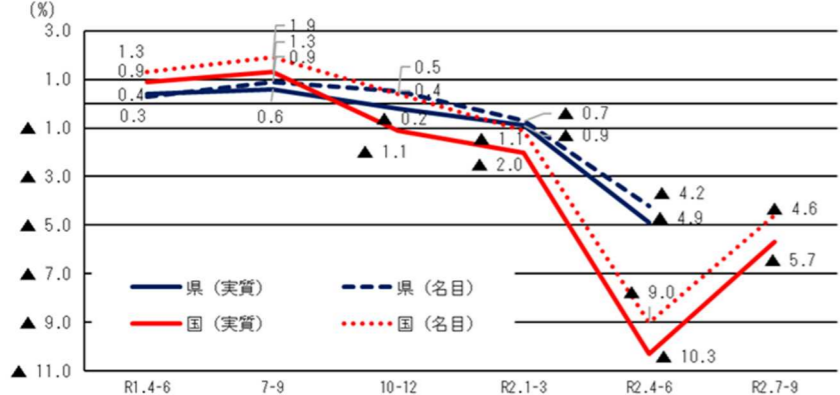
足下の経済・雇用情勢

※業種別の状況は別添資料参照

1 GDP及び業況

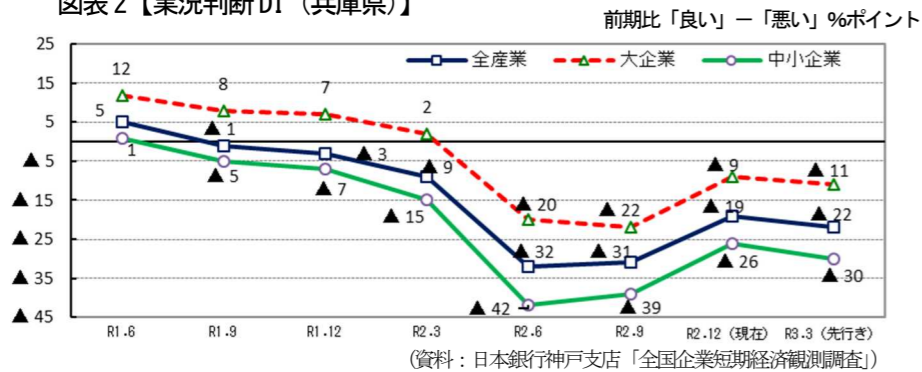
四半期別GDPは、令和2年4~6月期において、実質で対前年同期比4.9%、名目で4.2%のマイナスと大きく低下している。(図表1) また、企業の業況判断は、足もと、先行きとも、依然として厳しいと見込まれている。(図表2)

図表1【四半期別GDP成長率(兵庫県・全国)】



区分	H31.4-R1.6	7-9	10-12	R2.1-3	4-6	7-9
県(実質)	0.4	0.6	▲0.2	▲0.9	▲4.9	未発表
県(名目)	0.3	0.9	0.5	▲0.7	▲4.2	未発表
国(実質)	0.9	1.3	▲1.1	▲2.0	▲10.3	▲5.7
国(名目)	1.3	1.9	0.4	▲1.1	▲9.0	▲4.6

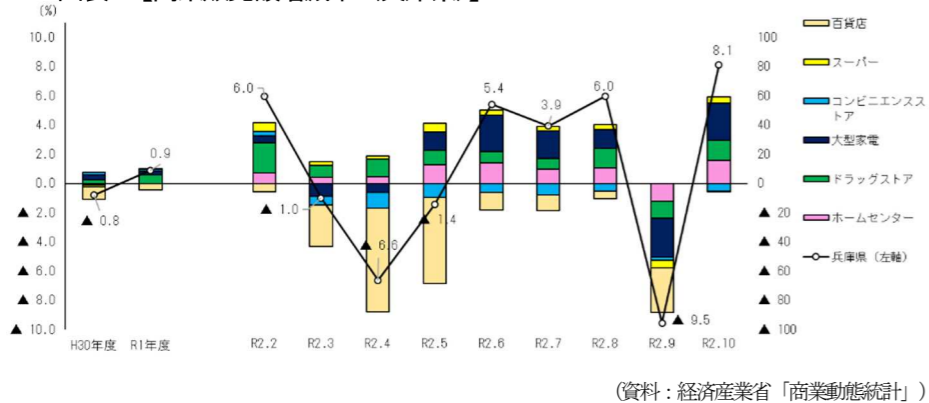
図表2【業況判断DI(兵庫県)】



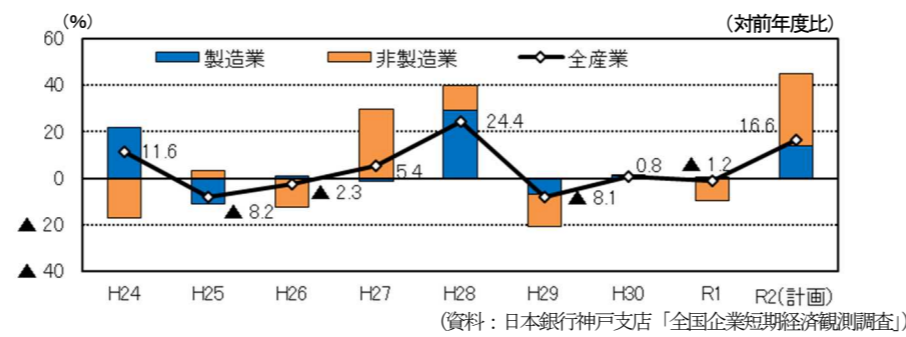
2 需要

商業販売額は、前年同月を上回り、持ち直しの動きが続いている。(9月は前年の消費増税の駆け込み需要の反動減)(図表3) 設備投資は、増加が計画されている。(図表4) 主要ホテル(神戸市内)の稼働率は10月時点では改善の傾向。(図表5)

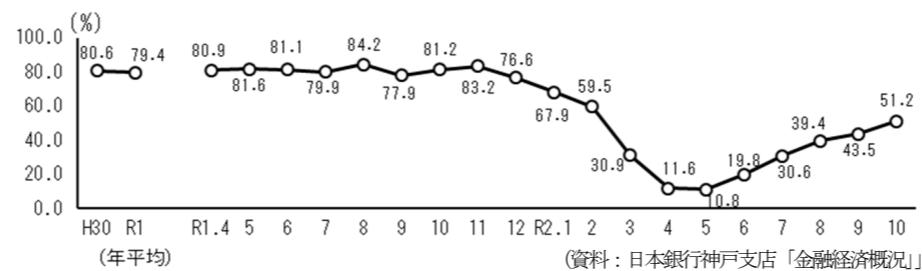
図表3【商業販売額増減率(兵庫県)】



図表4【設備投資の増減率(兵庫県)】



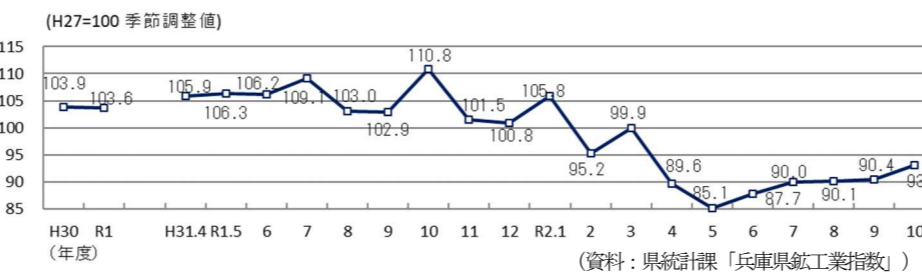
図表5【神戸市内主要ホテル平均稼働率(神戸市内)】



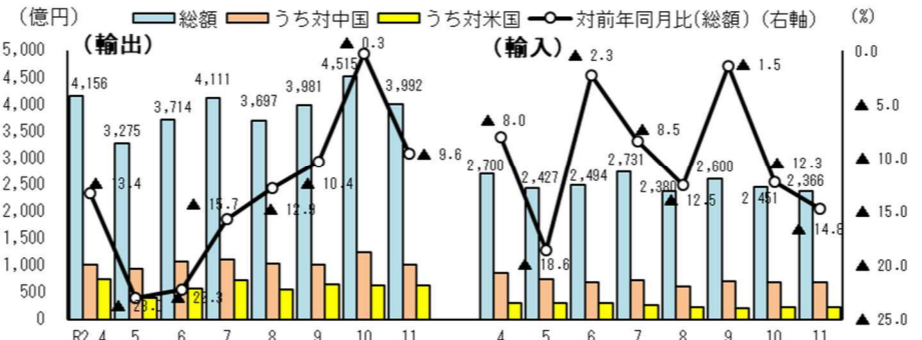
3 企業活動

鉱工業生産は、5月を底に持ち直し基調。(図表6) 神戸港からの輸出は持ち直している。(図表7) 県制度による融資を着実に実行する中、足もとの県内企業倒産は40件と、前年同月比減。資金繰りは、「楽である」とする企業の超過幅が減少。預貸金残高は前年度を大きく上回っている。(図表8、9、10、11)

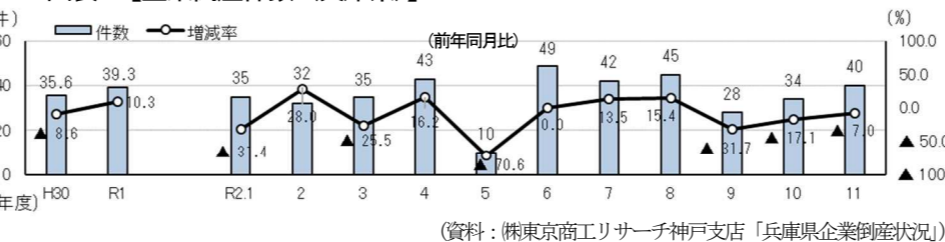
図表6【鉱工業生産指数(兵庫県)】



図表7【神戸港貿易額】



図表8【企業倒産件数(兵庫県)】

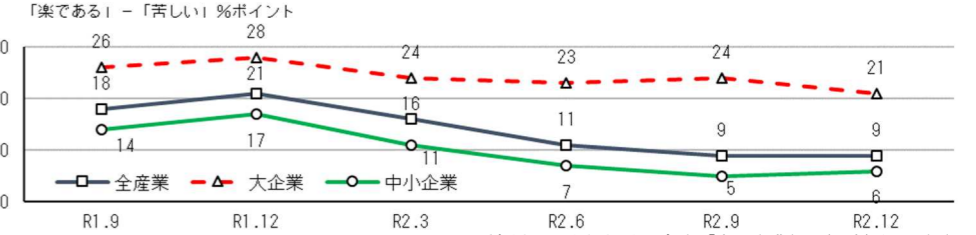


図表9【県中小企業融資制度による融資実績(12月17日時点)】(単位:百万円)

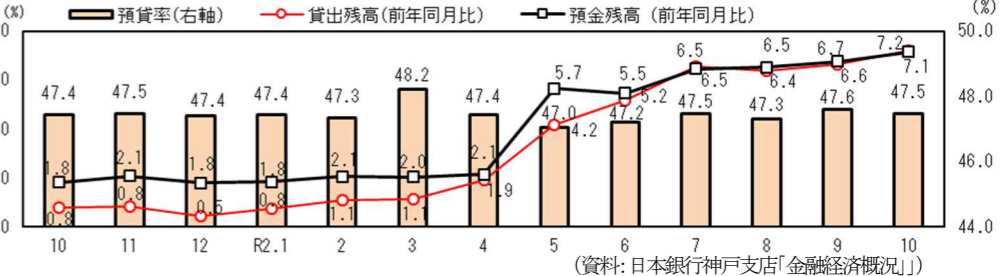
制度名	区分	件数	金額
新型コロナウイルス対策貸付(2/25~)	保証承諾	3,221	64,578
	融資実行	3,217	64,378
新型コロナウイルス危機対応貸付(3/16~)	保証承諾	1,281	48,811
	融資実行	1,276	48,651
経営活性化資金(3/16~)	保証承諾	551	16,868
	融資実行	526	16,215
借換等貸付(3/16~)	保証承諾	152	4,868
	融資実行	150	4,794
新型コロナウイルス感染症対応資金(無利子・無保証料)(5/1~)	保証承諾	44,657	734,914
	融資実行	43,169	714,434
新型コロナウイルス感染症保証料応援貸付(6/22~)	保証承諾	2,229	71,619
	融資実行	2,028	65,872
合計	保証承諾	52,091	941,658
	融資実行	50,366	914,344

(資料: 県産業労働部 地域金融室 まとめ)

図表10【資金繰り判断(兵庫県)】



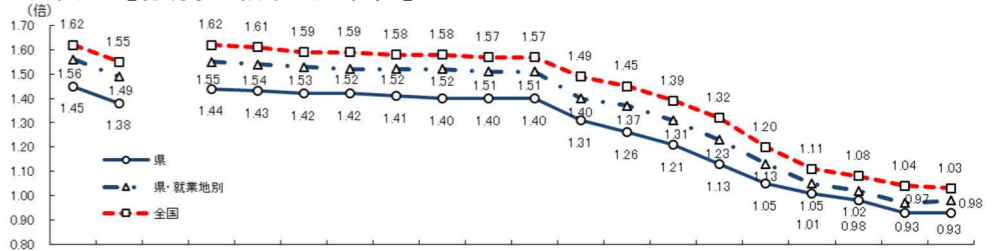
図表11【預貸金残高増減率及び預貸率】



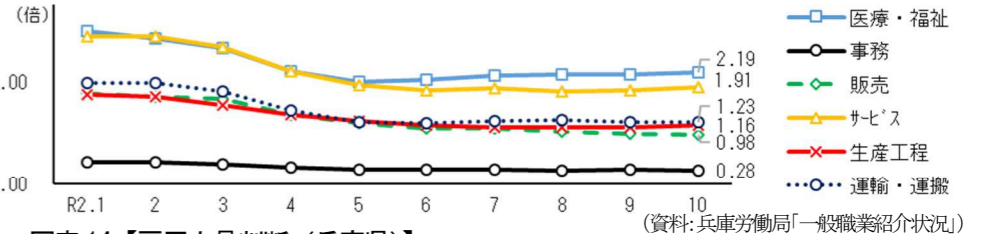
4 雇用

有効求人倍率は横ばいとなっている。(図表12) 職業別では、業績の悪化が懸念される職種での低下が顕著となっている。(図表13)

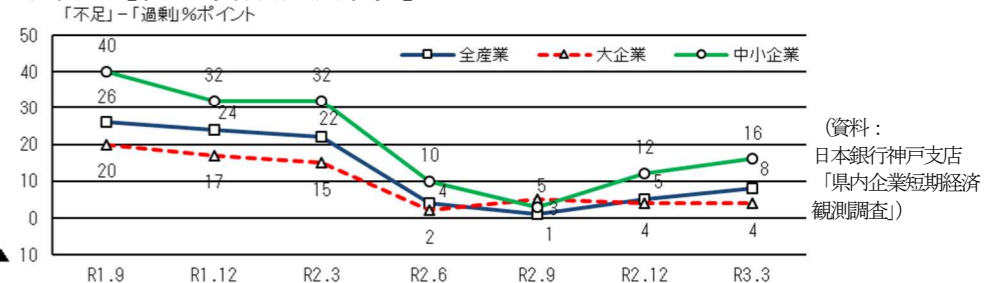
図表12【有効求人倍率(兵庫県)】



図表13【職種別有効求人倍率(兵庫県)】



図表14【雇用人員判断(兵庫県)】



(資料: 日本銀行神戸支店 「県内企業短期経済観測調査」)

新型コロナウイルス感染症の影響による足下の経済・雇用情勢

1 概況

製造業では、生産は持ち直し基調にあるものの、航空機関連の非鉄金属需要の激減や、対アジア向けの一般機械の輸出減、飲食店向け飲食料品の販売減が見られる。景況感は、現状及び先行きとも厳しい判断となっている。

非製造業では、宿泊・飲食など主に対人サービスで売上や稼働率の低下が見られ、景況感も厳しい判断となっている。一方、GoTo トラベル等の効果が発現している。

新規求人数は幅広い業種で減少している。

新型コロナウイルス感染症関連の倒産は、中小企業融資制度の活用等により低位で推移している。

2 企業景況感

(現状「良い」－「悪い」) 構成比 (%ポイント)

区分	R2.6月	R2.9月	R2.12月(現在)	R3.3月(予測)
全産業	▲32	▲31	▲19	▲22
うち中小企業	▲42	▲39	▲26	▲30

【主な業種】

区分	R2.6月	R2.9月	R2.12月(現在)	R3.3月(予測)
製造業	▲37	▲37	▲23	▲23
非製造業	▲27	▲23	▲15	▲22
うち卸売	▲39	▲46	▲35	▲42
うち対個人サービス	▲63	▲50	▲50	▲38
うち宿泊・飲食サービス	▲100	▲100	▲66	▲66

(県内企業短期経済観測調査(日本銀行神戸支店))

3 生産(鉱工業指数)

(H27年=100 [季節調整済指数]、() 内前月比増減率%)

区分	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
兵庫県	89.6 (▲10.3)	85.1 (▲5.0)	87.7 (3.1)	90.0 (2.6)	90.1 (0.1)	90.4 (0.3)	93.1 (3.0)
全国	86.4 (▲9.8)	78.7 (▲8.9)	80.2 (1.9)	87.2 (8.7)	88.1 (1.0)	91.5 (3.9)	95.0 (3.8)

【主な業種】

区分	鉄鋼・非鉄金属	生産用機械	はん用・業務用機械	輸送機械	化学工業	食料品	
兵庫県	R2.7	62.1	70.8	114.4	85.3	132.8	93.5
	R2.8	67.1	68.0	120.8	111.9	105.7	87.8
	R2.9	68.9	63.8	97.6	112.7	114.4	94.9
	R2.10	80.9	70.0	117.1	92.8	120.8	90.3
全国	R2.7	73.7	89.7	85.2	79.9	93.0	99.4
	R2.8	78.5	80.8	86.9	86.8	95.4	97.1
	R2.9	83.0	89.9	80.9	95.6	97.1	-
	R2.10	87.4	93.0	95.4	100.2	96.3	-

(鉱工業指数(経済産業省、県統計課))

4 輸出入

〔輸出〕

(単位：億円、()内前年同月比増減率)

区分		7月	8月	9月	10月	11月	昨年度との比較(11月)
神戸港	計	4,111 (▲15.7%)	3,697 (▲12.9%)	3,981 (▲10.4%)	4,515 (▲0.3%)	3,992 (▲9.6%)	・米国向けは荷役機械が減(▲25) ・中国向けは精油・香料及び化粧品類が増(+35)となる一方、科学光学機器(▲37)、半導体等製造装置を含む一般機械(▲93)等が減 ・中国以外のアジア向けは、原動機やポンプ等の一般機械(▲71)、電気機器(▲44)等が減 ・EU向けは、通信機を含む電気機器が減(▲24)
	米国	727 (▲12.4%)	553 (▲14.0%)	650 (▲12.7%)	622 (▲21.6%)	625 (▲3.7%)	
	中国	1,099 (▲3.5%)	1,025 (▲0.6%)	1,019 (10.8%)	1,231 (14.6%)	1,020 (▲13.3%)	
	中国以外アジア	1,319 (▲20.2%)	1,355 (▲14.3%)	1,442 (▲17.4%)	1,649 (▲0.9%)	1,498 (▲12.1%)	
	EU	473 (▲4.7%)	372 (▲23.9%)	440 (▲11.2%)	504 (▲0.4%)	380 (▲8.9%)	
近畿圏	計	12,245 (▲11.8%)	12,049 (▲8.7%)	13,348 (▲5.7%)	14,307 (2.3%)	12,981 (▲4.0%)	・米国向けは医薬品(▲63)、遊戯用具(▲54)の減 ・中国向けは半導体等電子部品が減(▲150)となった一方、電気回路等の機器(+34)、プラスチック(+34)等が増 ・中国以外のアジア向けは、原動機や半導体等製造装置を始めとした一般機械(▲159)や、鉱物性燃料(▲80)等が減
	米国	1,783 (▲14.4%)	1,426 (▲22.1%)	1,913 (▲5.5%)	1,881 (▲10.5%)	1,606 (▲8.5%)	
	中国	3,560 (7.0%)	3,499 (7.1%)	3,724 (12.9%)	3,935 (11.9%)	3,598 (3.3%)	
	中国以外アジア	4,915 (▲14.0%)	5,105 (▲6.9%)	5,432 (▲9.9%)	5,910 (2.3%)	5,543 (▲5.6%)	
	EU	1,115 (▲14.0%)	1,049 (▲22.9%)	1,181 (▲13.1%)	1,439 (6.8%)	1,194 (▲0.5%)	
全国	計	53,692 (▲19.2%)	52,331 (▲14.8%)	60,551 (▲4.9%)	65,661 (▲0.2%)	61,136 (▲4.2%)	・米国向けは航空機(▲121)、医薬品(▲88)等が減 ・中国向けは半導体等電子部品が減(▲150)となった一方、自動車(+100)や、非鉄金属(+114)等が増 ・中国以外のアジア向けは、自動車等の輸送用機械などが減(▲506) ・EU向けは自動車が減(▲172)
	米国	10,913 (▲19.5%)	9,369 (▲21.3%)	11,953 (0.7%)	12,993 (2.5%)	11,813 (▲2.5%)	
	中国	13,291 (8.2%)	12,616 (5.1%)	13,417 (14.0%)	14,578 (10.2%)	13,595 (3.8%)	
	中国以外アジア	18,472 (▲17.3%)	18,175 (▲15.0%)	20,353 (▲10.3%)	22,341 (1.0%)	20,859 (▲8.9%)	
	EU	4,393 (▲30.5%)	4,763 (▲19.2%)	5,541 (▲10.6%)	5,992 (▲2.6%)	5,610 (▲2.6%)	

〔輸入〕

(単位：億円、()内前年同月比増減率)

区分		7月	8月	9月	10月	11月	昨年度との比較(11月)
神戸港	計	2,731 (▲8.5%)	2,380 (▲12.5%)	2,600 (▲1.5%)	2,451 (▲12.3%)	2,366 (▲14.8%)	・米国からは食料品(▲17)、非鉄金属等の原料別製品(▲13)が減 ・中国以外のアジアからは、無機化合物等の化学製品が減(▲20) ・EUからは、医薬品(▲46)、輸送用機器(▲26)などが減
	米国	268 (▲3.8%)	218 (▲28.8%)	210 (▲18.6%)	216 (▲23.5%)	229 (▲18.2%)	
	中国	730 (▲11.3%)	617 (▲11.6%)	708 (▲2.5%)	677 (▲9.2%)	689 (▲2.8%)	
	中国以外アジア	712 (▲10.9%)	649 (▲9.7%)	653 (▲12.8%)	709 (▲20.1%)	628 (▲17.7%)	
	EU	616 (13.4%)	544 (▲0.8%)	720 (41.9%)	456 (▲0.6%)	463 (▲24.3%)	
近畿圏	計	10,943 (▲18.5%)	9,965 (▲17.0%)	10,767 (▲11.4%)	10,986 (▲9.0%)	10,810 (▲12.9%)	・米国からは医薬品が減(▲76) ・中国からは製品類(+211)や通信機等の電気機器(+148)が増 ・中国以外のアジアからは製品類(▲236)、天然ガス及び製造ガス等の鉱物性燃料(▲108)などが減 ・EUからは製品類(▲207)や医薬品を含む化学製品(▲114)が減
	米国	955 (▲23.6%)	873 (▲33.9%)	1,026 (9.4%)	983 (▲4.5%)	973 (▲9.1%)	
	中国	3,680 (▲9.5%)	3,134 (▲10.1%)	3,565 (▲8.1%)	3,671 (▲6.2%)	3,982 (3.8%)	
	中国以外アジア	2,860 (▲12.8%)	2,597 (▲14.7%)	2,799 (▲15.8%)	3,021 (▲11.5%)	2,812 (▲12.6%)	
	EU	1,675 (9.8%)	1,336 (1.1%)	1,707 (12.8%)	1,351 (6.9%)	1,200 (▲18.7%)	
全国	計	53,621 (▲22.3%)	49,845 (▲20.8%)	53,801 (▲17.2%)	56,932 (▲13.3%)	57,469 (▲11.1%)	・米国からは鉱物性燃料(▲263)、化学製品(▲164)、航空機類(▲155)等が減 ・中国からは電話機などの通信機が増(+1,031) ・中国以外のアジアからは鉱物性燃料等が減(▲497) ・EUからは自動車などの輸送用機器(▲471)、医薬品などの化学製品(▲268)、食料品(▲240)が減
	米国	5,793 (▲25.4%)	5,638 (▲21.9%)	5,624 (▲9.9%)	6,008 (▲15.6%)	5,931 (▲13.9%)	
	中国	14,569 (▲9.7%)	13,193 (▲7.0%)	14,286 (▲11.9%)	15,355 (▲3.7%)	16,843 (6.7%)	
	中国以外アジア	13,842 (▲16.7%)	12,587 (▲15.0%)	13,592 (▲13.3%)	14,793 (▲10.0%)	14,534 (▲5.8%)	
	EU	6,518 (▲14.3%)	5,574 (▲22.0%)	6,799 (▲13.0%)	6,389 (▲11.4%)	6,299 (▲17.3%)	

5 雇 用

〔新規求人数〕

(単位：人、() 内対前年同月比増減率%)

区 分	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
兵庫県	28,367 (▲13.5)	23,868 (▲32.3)	23,315 (▲32.3)	27,953 (▲13.0)	25,631 (▲28.4)	24,397 (▲29.2)	29,507 (▲12.0)	28,526 (▲24.2)
全 国	834,554 (▲12.1)	656,148 (▲31.9)	637,335 (▲32.1)	756,004 (▲18.3)	700,142 (▲28.6)	662,446 (▲27.8)	758,091 (▲17.3)	788,994 (▲23.2)

【主な業種】

区分		新規求人数	建設業	製造業	卸売	小売	宿泊	飲食
兵庫県	R2.7	25,631 (▲28.4)	2,513 (▲10.2)	2,235 (▲38.6)	712 (▲27.9)	2,205 (▲45.7)	396 (▲42.3)	1,851 (▲34.1)
	R2.8	24,397 (▲29.2)	2,133 (▲20.9)	2,233 (▲49.2)	616 (▲27.1)	2,258 (▲32.7)	283 (▲56.6)	2,140 (▲18.9)
	R2.9	29,507 (▲12.0)	2,845 (▲5.1)	2,902 (▲24.1)	833 (▲8.4)	2,377 (▲10.6)	599 (▲8.1)	2,096 (14.5)
	R2.10	28,526 (▲24.2)	2,783 (▲0.8)	2,636 (▲33.7)	731 (▲34.7)	2,356 (▲42.0)	639 (▲21.4)	1,788 (▲38.9)
全 国	R2.7	700,142 (▲28.6)	73,649 (▲9.8)	56,011 (▲40.9)	19,815 (▲34.2)	71,628 (▲33.2)	13,084 (▲36.8)	36,114 (▲46.2)
	R2.8	662,446 (▲27.8)	66,076 (▲6.4)	53,524 (▲38.3)	18,998 (▲31.3)	70,756 (▲34.7)	8,766 (▲56.8)	32,174 (▲46.4)
	R2.9	758,091 (▲17.3)	82,256 (▲6.4)	66,770 (▲26.7)	22,785 (▲24.1)	70,545 (▲29.5)	12,110 (▲40.3)	42,680 (▲30.9)
	R2.10	788,994 (▲23.2)	80,579 (▲2.5)	67,582 (▲29.4)	23,192 (▲25.7)	74,685 (▲34.5)	16,306 (▲23.9)	41,042 (▲42.5)

(一般職業紹介状況(厚生労働省、同兵庫労働局))

〔解雇・雇い止めの状況 (コロナ関連・累計・12/18 現在)〕

※() 内は前回(10/23)対比

区分	雇用調整の可能性がある事業所数	解雇等見込み労働者数
兵庫県	1,952 事業所 (+165 事業所(+9.2%))	2,090 人 (+98 人(+4.9%))
全 国	120,050 事業所(+8,110 事業所(+7.2%))	77,739 人(+9,599 人(+14.1%))

(新型コロナウイルス感染症に起因する雇用への影響に関する情報について(兵庫労働局、厚生労働省))

6 金融 (企業倒産件数)

(単位：件、() 内対前年同月比増減率%)

区 分	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11
兵庫県	49(0.0)	42(13.5)	45(15.4)	28(▲31.7)	34(▲17.1)	40(▲7.0)
全 国	780(6.3)	789(▲1.6)	667(▲1.6)	565(▲19.5)	624(▲20.0)	569(▲21.7)

〔新型コロナウイルス感染症に関連した倒産 (累計、12/18 現在)〕 () 内は前対比

区 分	兵庫県	全国
件 数	38(+9)	804(+158)
うち飲食関連	15(+5)	137(+27)
うちアパレル関連	9(0)	78(+11)
うち宿泊業	1(0)	60(+6)

飲 食 関 連：飲食店、飲食料品製造業、
飲食料品卸売業
アパレル関連：製造、販売

(株)東京商工リサーチ

7 県内企業の状況（企業への聞き取り等）

	業 種	概 況
製 造 業	鉄 鋼	<ul style="list-style-type: none"> 自動車メーカーの操業停止、受注減により、生産調整を実施。 産業機械、建設機械関係の回復が遅く、引き続き楽観視できない状況。
	化学製品	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産台数の回復に伴い、全体の景況感は改善している。 一方で、若干のタイムラグを生じながら、企業の設備投資に見送りや見直しの兆候が出ており、汎用機械関連は先行きに不透明感が見られる。
	電気機械 器具製造業	<ul style="list-style-type: none"> 外出制限や経済活動の低迷から、上半期は需要が減少していたが、11月現在では行動規制の緩和等に伴い持ち直しつつある。 非接触の観点から、顧客とのコミュニケーションはオンラインを中心にを行っているが、製品の説明やPR等について影響が生じている。
	食 料 品	<ul style="list-style-type: none"> 巣ごもり需要により家庭用の販売が好調であるが、飲食店向けや観光地の直営店販売が落ち込み、全体売上は前年同期比で微増となる見通し。
地 場 産 業	真 珠	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での海外渡航自粛、商談の中心地である香港の政情不安から、商談や輸出ができていない状況。 11月の売上は、前年同月比9割程度減少の見込み。
	ケミカル シューズ	<ul style="list-style-type: none"> 11月の売上は、前年同月比5割程度減少の見込み。 10月に翌春商品の展示会を開催したが、国内の各小売店も本年春・夏分の在庫を抱えており、大幅な受注増は見込みづらい。
	豊 岡 か ぼ ん	<ul style="list-style-type: none"> OEMの受注停止や小売店の売上減が生産に大きく影響。 11月の売上は、前年同月比5割程度減少の見込み。
	清 酒	<ul style="list-style-type: none"> 10月の出荷数量は、前年同月比約1割増加。 10月の酒税減税による需要増があったものの、今後は忘年会等の自粛等により厳しい状況が予想される。
非 製 造 業	観 光・ 宿 泊 業	<ul style="list-style-type: none"> 10・11月の売上は前四半期（7～9月）比25%増、前年同期比10%増。消費動向としては、高額商品が人気で、客単価も客数も増加。一気に客数が増加したため人員不足となっており、求人募集を実施中。
	飲 食 店	<ul style="list-style-type: none"> 10～12月前半の店舗売上では、繁華街の店舗は微減で推移しているが、郊外店舗は前年度並みに戻っている。今後の感染症拡大を懸念している。
	百 貨 店	<ul style="list-style-type: none"> インバウンドの影響が比較的小さいこともあり、東京・大阪と比較すると売上の回復は早い。
	各 種 小 売 業	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の影響により、マスクや巣ごもり消費関連等の売上が伸びている一方、外出用の商品は売上が減少している。 例年よりセール期間を長く設定したことで来客が分散し、以前は不足していた店頭のレジや商品補充の人員が、現在は適正となっている。
	道路旅客 運 送 業	<ul style="list-style-type: none"> バスツアー等の旅行貸切事業は団体・修学旅行中止で低迷が続いていたが、GoTo トラベル効果での個人利用増により10月以降回復基調にある。 通勤定期の売上は戻りつつあるが、通学定期の売上は、大学等のオンライン授業化の影響で減少している。
	人材派遣業	<ul style="list-style-type: none"> 先行き不安感から、新規派遣登録者数は2～3割程度増加している。 一方、足もとでは、先行き不透明感を考慮して、一旦必要な人員数を見極めている企業が多く派遣依頼が減少傾向にある。
不 動 産 取 引 業	<ul style="list-style-type: none"> 古民家などの物件の問い合わせ件数が増えてきており、都市から地方への動きが感じられる。 	